

## 住環境調整工学（3年生前期担当）シラバス

授業科目名：住環境調整工学 担当者：中村泰人 履修学年：3年

### 主題

環境調整の立場から、私達を取り囲む居住環境を如何に創り出していくかについて、考えていきます。対象は、私達が実際に住まう住宅内部、もしくは住宅周辺の環境とします。個々の技術や理論も扱いますが、特に全体的な方針や理念について考えていく予定です。

### 履修上の注意

関連する以下の講義とともに履修することが望ましい。

人間環境健康原論，環境設備原論，環境設備システム学，地域環境調整工学

### 使用教材

講義中に配布するプリント，OHP，スライドなど

### 参考文献

講義中に紹介します。

### 成績の評価方法

適宜出題するレポート，定期試験の結果を総合して，評価します。

### 授業計画

#### 1．住環境の調整とは？（1～2回）

住環境調整とは、何かについて概説します。また、講義全体のガイダンスも兼ねます。

#### 2．住環境の調整の歴史（3～4回）

これまでに人々が住環境をコントロールしてきた歴史について考えます。医学、特に衛生学との関連についても考えます。

#### 3．住環境の調整の方針と理念（2～3回）

住環境を調整する上での方向付けについて考えます。アクティブな調整手法よりも、自然エネルギーの有効利用を図るパッシブな調整手法に焦点を当てます。また、各地の気候や風土との関連についても触れる予定です。

#### 4．住環境を調整する上での目標（2～3回）

どのような住環境を創りだしていくべきかについて考えます。環境と人々の心理や生理との関係、例えば、人々が感じる「快適性」などについて扱う予定です。

#### 5．環境共生住宅（2～3回）

これまでの講義内容を踏まえ、様々な環境調整技術の総合によりつくり出される環境共生住宅について、解説します。